

## 公益社団法人宇治市観光協会について

宇治市には市内中心部を流れる宇治川をはじめとした自然景観や世界遺産登録された平等院と宇治上神社そして黄檗山萬福寺、三室戸寺、興聖寺など歴史的建造物、また、宇治川の鶴飼、宇治茶まつり、あがたまつりなどの伝統行事、宇治市営茶室対鳳庵、宇治市植物公園、宇治市源氏物語ミュージアム、宇治市野外活動センター(アクトパル宇治)、府立山城総合運動公園(太陽が丘)、天ヶ瀬森林公園などの公共施設、緑豊かな山里笠取地域、陶芸の里炭山地域など豊富な観光資源があります。

全国的に有名な宇治茶や茶の文化のさらなる発展と、平成2年開始の源氏物語のまちづくりとともに、「お茶と源氏物語のまち」として全国にPRしています。

当会は昭和61年に公益性を認められ社団法人となり、平成25年度6月3日より公益社団法人として認定されております。

イラストマップ、観光ポスターの印刷発行、インターネットの活用、観光宣伝キャンペーン、おもてなしの心を大切にしたい観光ボランティアガイドによる観光案内などによって宇治市を紹介し、季節にあわせて「宇治川さくらまつり」「宇治川の鶴飼」「宇治川花火大会」「源氏物語宇治十帖スタンプラリー」などのイベントを開催、更に平成15年4月からJR宇治駅前観光案内所内に観光土産品展示販売を行う「おみやげプラザ宿木」をオープンして、宇治市の観光PRに努め、観光客の積極的な誘致を図っています。

昨今、観光客の観光ニーズは多様化し海外からの観光客も増加し、平成20年には宇治市全体で年間500万人を超える観光客数となりました。平成21年2月に、国内で初めて文化庁から宇治橋上流の社寺・伝統街区・茶畑などが「宇治の文化的景観」として選定され、平成21年度には、(社)日本観光協会主催の「第17回優秀観光地づくり賞 国土交通大臣賞・金賞」を受賞しました。また、平成25年6月3日より公益社団法人へと移行し、これまで以上に公益性を発揮し諸事業の運営を行っております。

これからも宇治市の美しい自然環境がおりなすたまたまの中で、市民や観光客の憩いの場を守り次世代の育成や地域の文化と経済の向上発展に寄与し、観光客の誘致・観光客受入体制の整備・組織の充実など進めていきたいと存じます。

以上申し述べました当協会の事業目的、活動趣旨にご理解いただきまして、是非とも(公社)宇治市観光協会にご入会いただき、「観光宇治」のますますの発展にお力添えいただくことをお願いするものでございます。

公益社団法人宇治市観光協会